

柑橘7月の管理

伊豆農業研究センターの生態調査で、本年度の柑橘の開花期は10日程度早く推移しています。今月は梅雨の合間の仕事が多くなると思いますが、高品質生産には欠かせない作業ですので、確実に行いましょう。特に今年は着花量が多く、高品質連年安定生産の為に、早期の摘果が重要です。また、長期予報によると今年の夏は気温が高い見込みです。夏場の高温・乾燥は小玉・酸高傾向になりますので、摘果や雨が少ない場合は灌水を徹底し減酸・小玉対策を積極的に行いましょう。

表1 柑橘生態（開花期） 伊豆農業研究センター

年度	ヒュウガナツ				川野ナツダイダイ				太田ポンカン			
	始期	盛期	終期	期間	始期	盛期	終期	期間	始期	盛期	終期	期間
30	5/1	5/4	5/17	17	4/30	5/4	5/13	14	5/1	5/5	5/14	14
平年	5/12	5/19	5/28	17	5/9	5/15	5/22	14	5/9	5/15	5/20	12
29	5/9	5/16	5/29	21	5/9	5/15	5/24	16	5/15	5/21	5/29	15
28	5/3	5/9	5/23	21	4/29	5/6	5/16	18	5/1	5/6	5/14	14
27	5/10	5/15	5/26	17	5/6	5/13	5/18	13	5/7	5/12	5/18	12

年度	はるみ				不知火				青島温州			
	始期	盛期	終期	期間	始期	盛期	終期	期間	始期	盛期	終期	期間
30	5/4	5/7	5/16	13	5/1	5/4	5/14	14	5/2	5/4	5/16	15
平年	5/13	5/18	5/24	12	5/10	5/15	5/23	14	5/12	5/17	5/24	13
29	5/13	5/18	5/29	17	5/13	5/20	5/29	17	5/15	5/19	5/29	15
28	5/7	5/10	5/18	12	5/2	5/7	5/16	15	5/5	5/9	5/18	14
27	5/11	5/16	5/21	11	5/8	5/12	5/21	14	5/8	5/14	5/25	18

★摘果管理

摘果は果実の肥大促進や連年安定生産への重要な管理となります。中晩柑の有利販売のためには大玉生産が重要です。中晩柑は早期摘果を実施し初期肥大を促進させましょう。温州みかんはベタ花の場合は樹上1/3を全摘果しましょう。

表2 摘果管理

品種	粗摘果時期	仕上げ摘果	
		時期	葉果比
甘夏	7月上～中旬	8月下旬	90～120
日向夏	7月上～中旬	8月下旬	80～100
ポンカン	7月上旬	9月上旬	100～120
伊予柑	6月下旬	8月下旬	80～100
清見	6月下旬	8月中～下旬	80～120
はるみ	7月上～中旬	9月上旬	100～120
不知火	6月下旬	—	100～130
早生	7月上～中旬	8月下旬	25～30
普通	7月上～中旬	8月下旬	20～25
青島	—	9月上旬	25～30

★品質向上対策

夏季剪定

果実が枝葉に覆われていると、薬剤の散布ムラや果実の品質低下につながります。果実に光が当たるように被さり枝を間引いてください。また、かいよう病の罹病枝や黒点病の原因となる枯れ枝の除去もあわせて実施して下さい。

フィガロン散布

温州みかんは品質向上の為に、フィガロン乳剤を散布してください。また、樹勢の弱い樹は散布を控えてください。青島では、伊豆農業研究センターの満開日は5月4日です。で、満開70日後は7月13日、満開90日後は8月2日が散布の目安になります。

満開70日後	フィガロン乳剤	2,000倍
満開90日後	フィガロン乳剤	3,000倍

★病虫害防除（全ての柑橘類）

黒点病は前回の防除から降雨量250mm、または経過日数30日を基準に散布してください。近年、ゲリラ豪雨とも言われる予測が困難な、突発的で局地的な豪雨がたびたび発生しています。降雨対策のため防除の際には展着剤アビオンーEを加用してください。ただし、アビオンを混用したからといって薬効が延びるわけではないので、降雨量が少なくても前回の防除から30日を目安に次の防除を行いましょう。近年サビダニの被害がかなり多く見られます。サビダニは7月に春芽から果実へ移動し始め、寄生密度が最も高くなります。防除の際は、10aあたり600Lを目安に葉裏まで丁寧に散布をしてください。

表3 7月の防除

時期	品種	対象病虫害	薬剤名	倍率	安全使用基準
7月上旬	柑橘全般	黒点病	Mダイファー水和剤	600倍	(収穫前90日ー2回)
		ミカンサビダニ	コテツフロアブル	4,000倍	(収穫前日ー2回)
		展着剤	アビオンーE	1,000倍	—
7月下旬	柑橘全般	黒点病	Mダイファー水和剤	600倍	(収穫前90日ー2回)
		ミカンサビダニ	マッチ乳剤	3,000倍	温州みかん(収穫前14日ー3回) その他柑橘(収穫前21日ー1回)
		展着剤	アビオンーE	1,000倍	—
7月中旬～下旬	柑橘全般	カミキリムシ類	モスピラン水溶剤	400倍	(収穫前14日ー3回) 主幹から株元に散布
発生時	柑橘全般	カメムシ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	(収穫前14日ー3回)

★橙(ポン酢用)の防除

ポン酢用橙は10月上～中旬に出荷予定です。農薬安全使用基準による散布期限を遵守してください。散布期限を守った上で、外観品質向上に努めましょう。**Mダイファーの登録の変更に、散布期限が収穫90日前になっています。収穫前日数を遵守してください。**また、漢方薬用の橙については基本的に無農薬での対応をお願いします。

散布期限 **7月上旬** 収穫前日数90日が基準の薬剤
ペンコゼブ水和剤(ジマンダイセン水和剤)
スプラサイド乳剤
Mダイファー水和剤
◎これ以降に散布してしまうと、**ポン酢用で橙を出荷することは出来ません!**

★除草

雑草は養水分吸収を樹と競合するのに加え、病虫害の巣となりますので除草を実施して下さい。

★灌水

ポンカン・不知火・はるみ等は梅雨明け後、土壌が乾燥すると果実肥大・減酸が悪くなります。また、乾燥により細根が枯死し、隔年結果を助長させる原因ともなりますので、雨量が少ない場合は10aあたり1週間に20tの灌水を行ってください。